



# news release

## ポケットカード株式会社(8519) 平成19年2月期 中間期業績の概況 営業収益は前年同期比 8.6%増、中間純利益は同 20.0%増

ポケットカード株式会社(8519)の平成19年2月期 中間期の業績は、景気回復に伴う個人消費の拡大やクレジットカード決済分野の拡大、与信の精緻化、ローコスト経営体制の確立などにより、営業収益191億97百万円(前年同期比8.6%増)、経常利益45億40百万円(前年同期比0.0%減)、中間純利益27億5百万円(前年同期比20.0%増)となりました。

収益面では、割賦購入あっせん部門が、伊藤忠エネクス㈱やコーナン商事㈱をはじめとする提携先企業でのカード取扱の拡大、データベースマーケティングを活用した効率的な販促活動の強化によるカード利用頻度・顧客単価の向上、ガス・電気・携帯電話などの日常型決済の拡大等により、前年同期比20.0%増となる22億96百万円となり、また融資部門についても、会員一人ひとりの信用状況に応じた機動的な貸付限度額の設定、会員拡大に伴う新規利用会員の増加等により融資残高が伸長し、156億64百万円(前年同期比7.7%増)と堅調に推移した結果、営業収益全体では191億97百万円(前年同期比8.6%増)となりました。

費用面では、マイカルカードの一斉更新に伴う一時的な費用増及び利息返還請求の増加に伴う返還費用の増加、引当金の積み増し等により、146億52百万円(前年同期比11.6%増)となりました。

以上の結果、利益面では、営業利益45億45百万円(前年同期比0.1%減)、経常利益45億40百万円(前年同期比0.0%減)、中間純利益27億5百万円(前年同期比20.0%増)となりました。なお、中間純利益につきましては、前年同期において減損会計を早期適用し7億80百万円の特別損失を計上した影響により、前年同期比で大幅な増加となっております。

【単位：百万円】

	営業収益	経常利益	中間純利益
平成19年2月期 中間期業績	19,197	4,540	2,705
前年同期比	+8.6%	△0.0%	+20.0%

### <ご参考：平成19年2月期 通期業績予想の修正について>

当社は、利息返還請求の増加などのクレジットカード業界を取り巻く厳しい状況を踏まえ、平成18年4月11日に発表いたしました通期の業績予想について下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

なお、今回修正しました業績予想につきましては、利息返還請求の引当金計上に関する監査上の取扱の変更、関連法令の改正等の影響を織り込んでおらず、今後これらの動向を踏まえた上で必要に応じて改めて開示を検討してまいります。

詳細は、本日公表しております平成19年2月期 中間決算短信(非連結)をご確認ください。

【単位：百万円】

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	38,700	9,300	5,300
今回修正予想(B)	39,000	8,600	5,000
増減額(B-A)	300	△700	△300
増減率(%)	0.7%	△7.5%	△5.7%
(ご参考) 前期実績(平成18年2月期)	35,898	8,330	4,481

以上